所行始 學大韻音都原 部間新會等 當〇八九(上)聚電

垣見汲古堂

光佐藤彌太郎博士が就任じ 職學部附屬資料林長は職學部教

一月末日附で正式に競令された

本墨文墨部内階ラ文化研究會で 會長に落合教授

帰印より贈る』と題する酸液があ 回院會を開催、泉井久之助氏のル

南方文化總會

成類會長は顧問に、新會長に落合 文墓部長、岭事はすべて重任、な 自員足利隊氏氏があらたに幹事 月二十八日穂會をひらいたが、

いて近き勝來において實現される

演習林長佐藤教授

並河功教授 **医**

自誠・研究に精進せより

・ カルス本紙においてもの態度製造と機、本県においては協調のから職業に摘れるといるのであり、まと懸確の制度がる機関の古法規機関の 「機器と内省の上に立つて事態の政権に加えるのであり、まと懸確の制度の 「機器と内省の上に立つて事態の政権に加える 受職に匿へるべく科學提詢の本師、いのである、先級交際者では摩生息前の阿新に調を別の「参予の権」をかなぐりすてて国、も要酬する必要は及いし、また養樹してはならな「のである、かかる放言に刺しわれー」は確 も男も女も散然として戦米に對しては飲々として無言の「行動」をもつて答 八木學生課長語る 住にして、時間に到する窓底を練一等である。(容質は八木學生課長) けお 新せられつゝあることは、塞ぶべ くも後世の非難を招くが如き所像が時間の認識によって、著しく間 修業、難力の機成に努め、いやし

燃料化學の權威 喜多教授還曆

風尚間新に関する洒膜であるが

らつ、又外國人智愿生

たとへ一人でも時間の惣賊に続くるものあり、摹 つき新任の豪生課長八木ガン助博士は左のごとく あるのであるりか、真好、本學五千の豪徒のうち へるべく精進の道を遺掘りやうではないか、右に

講は田邊博士

ことでなければならめ、今期

教學に畏き大御心

總長ら御陪食の光榮

活躍に、あるひは同學會各部の動向にっかがひ得 を完うし

今や戦局の徹々緊迫を告げると

那人をよく理解しやすいと含ふ 主題は「大東耶郡設の理念」と決定、これが護師として、文屋部田逸元教授をはじめ高坂正誠、木村 各職師の題目、日職等評価は違つて發表を見る故郷・回ば五月十九日(水)午後も磨玉綵郷・「紫紫敷)の三教授および高田肖男、四谷綵治、宮陽市定、鈴木成高の四助教授改造されることとなった。 **藩生課主権月曜節義は、時局の推移に到處する豪徒の心構えに確認たる護り所を得せしむる意味の**

が終くいて呼吸の必定を または何の金種類様があるので 金属(して明り線)性が心的域と 製造的 パーコネクの間はいっちゃく 電力がらない これには本の機能 して前はよりかけられるが、これには本の機能 して前はよりかけられるが、これには本の機能 して前はよりかけられるが、これには本の機能 國民性の解明 家と任例に日本人に特殊な た。随和された民族であるにしろ のものは歌節りて同年のものとはならか、人類一般に共通な は美い間期音に観察であり 女裏・雑書・音楽等にしても日本語のいろいろものフで願望と 民がやつたが大胆いり見て日本人 2と美元2 からで、この脳から日本人は特殊、性質のやうだが、内葉と言ふ性質あって外國の膨入もつけずに來た、れは一見内類と言ふこととは逆な

行けない 理用があつたからで、 らも関係性のことは大きた所図を は落ふ、それた内質ではやって 分様して思られるが遺跡態の力か は落ふ、それた内質ではやって 分様して思られるが遺跡態の力か 其の二

燃料節約に太陽熱 宇宙物理學教室にきく

といふので太陽館の利用。究の成果が急速に得られるといふ 関連に関立して研究さればならな (木) 午後七時から幾友會賦で開 くなり、それだける娘が1重くなつ (木) 午後七時から幾友會賦で開 くなり、それだける娘が1重くなつ (紙) そのほか 定めることなども各國の暴界共同同性を持つた薬間で、月の位置を のと豫定

遺傳學の立場から一

理學部の卷

左配绣氏にたいしそれぐ

學位授與

還曆記念展 -四日から一週間西部横内で美術

西洋美術 なほ文化部と共 る防水池工事は四月二十日のエ

びに虹つた、まだ人通りの少ない。仕事を完まみれになつて円輌条のない報で事と気だらけば、泥ざみ、モツコかつき、地かため等な種生に無理ものるのは代生活から増生は無理ものるのは、生いこれでは、泥ざみ、モツコかつき、地かため等な種生 昨年度ご變りなし

教授は今紀めでたく御館を迎へた 大祭を経て明治四十年本が工科 衛報に前回と同じく一人九曲で増工基準助料料基準運得任務多派逸 奈良城の人、三萬より東大工科 こしてなければならば、今期 お 待望の月曜講義

泥と汗にまみれて 報國隊貯水池工事に出動

あるが、これを過日欧州省兵情報

既報のごとく本學報版隊の出動に一般高の任を得ふと 見時の浮れ心をよそに、持ちなれ なかつた、新土運形。 新土粉砕、 間年記念の際限も新たな裏生は花 勿線繋門的な工事にはたずさわら くす質を有す」との農長の脚宗は なほ名の部の出動期日は左の通りの一員として國土防傷に死力をつ 午前九時後四時迄の動勢に蹴した (2) 11十1日(30) 11十六日(20) 11十六日(20) 11十六日(20) 11十六日(20) 11) 11十六日(20) 11) 11日(20) 11) 11) 六日(20) 11) 11) 六日(20) 11) 11) 六日(20) 11) 微集監測期間の短縮規定が適用は 營團について

人化の形

二同生の出動から始つたる

在學微集延期の改正に就て 意図の問題について製作課では杉 學生課特別講義

刊新·房書出河

文化勳章に輝く

行杉 夫本

懷

風

藻

假三國九〇经 图三國九〇经

弘文堂

房 兵 紙 印 副

學振補助

人も残らず! 國民貯蓄に参加せよ

八年度前期暴訴研究費補助金を

に反し、宍戸博士の方法は

ヘッセン著 大西 昇譯 品の 類に間の

9

振韓口座東京一二三四番

田

たつくる新しい合成法を發音

名譽の椭移植

ナチスの勞働問題 ハイデ著 菊盛英夫譯 高の風 郷に

振考東京一二〇四八〇番東京市日本橋とル

J・B・コンドリフ著國際經濟調查所譯與500 第10

成 木村 龜二一著

理學部湯川秀樹教授

大學議師を選託され、翌四十一年末大工學大學財教授に得じ、大正五年東大工學大學助教授に得じ、大正五年東大工學大學助教授に

★ (第一製藥)

宍戶教授

國民經濟の成

雅田保之助

K 新發見

、門寄」「經濟的出活」を學ぶべき専門

いと質問はかたつた (編編) 10 編編) 10 編 | 10 m | 10 m

7

フ

カ

>

記

近藤正造業

築工匠

史

田・Bブリッグス著

京東春報院書江刀 田神・京東

古典ギリシヤの精神中川洲

取じついての一歌の基本方針を表 ことが出来ない歌歌があつた。それの一歌についての一歌の基本方針を表 つない 人で生産計画をたて行くといふい路にはなるころ。別の歌本方針を表 ない 一覧にして彩います。 は徴格、補助金は補助金と別々に生産者が補助金を置ふときに價格 檀着を開撃せんものと石炭、蝦米 を勝換くためにはありめる施職が「場合に公定斡都と神道などを一本」の改正をもつて出襲した郡域に対立なが、金年が決戦の年であり、この年「機関が生職者から生産物を貢取る「樹形成時代とである、襲利収納令 増殖の隘路を切開かんものと努力 6で終始一貫して低物質堅持のガ さらぬ、 わが間の物質政策はこれ 八谷を阿重防産業に拠中して直接 料、靈材、酸鄉、勞力、動力、齊 マ、夏村、厳術、郊力、助力、査 ついでにこんと时しく行はれる。 この路には一方において取め 四人を沖醤出来るのである この路には一方において取め のと神徳出来るのである 金等の交附、米伽における二里 小質物質指数を掲げると に比較して 総した場合には特別数格報処が、 同一の効果が治り、 見て支那事職後二段所に分け得る 資税な増重に對する努力を映くと | 国一の効果があり、総修上にも心 てゐただけであつて頭に網線を実 形は高音音が散電されただけ上げられたと | 総別を集員をもつて迫つ重け鑑し 圏の物図資報場直ざる2次分 あるひはまた原城を切下げてもイ の物質政策の行くべき滅に對し (二) とも、ともから新田園の最高 フルカランにで、鉄・地に足人 る。 おは光吹を直通の発達を、 解として、全観の音楽を全観、フの問題して、発光における。 もって近間の奇犬にも男ど共
いて、 関係の間に中央で発に対 レクの中間が認め、特徴やを育成、影響レーなみとに言うが明じれ、 展離を期間してはという主義も
いて、大き国際が組織者の高温 レクのある。 たため生産省にとつては實際 の設立趣質と施設内容において 上海の上海大學と北京の新民里、香醸と似てゐる。 選してゐる。そのうち部級にる 國大學とは暴都の職成の上に多 つき、ことに解題なる紹介ない友地中國の大學および大概生に 在の世界大戦の幾生にあるといふ を意味するのだと、解釋してよい かる現象は、いまや近代が終末に ると物質統領大綱ならびに同質施 とを、人々が撮影しはじめたこと ■の歴生中その八郷近くは、大 を占める質例があつて、 各國の大星と概なる點は、八 リカ式に女巫生は爰前列 いて見れば、これは法務學院、 る総合大學であつて、吾國の帝 工程院、職場院の大概部より成 粉學院、女學院、教育學院、選 いれたといふことによって一虹つて近代のもつ必然性が超見のとは、かくる制別的意味、取って近代が顔見されるためには、 近代の終末といふこと されるといふことがなければなら るべきものとされるのが際である がくして、MLSIETLE なっています。 がくして、MLSIETLE なっています。 の射線が現實に知覚される存在と かるに、現實の世界のうちに期待しじやうな心理が人々を支配してゐ 前週せしめて物資政策にも採り出 識の側面における経準への意志に 過程のうちにあつて媒介するので 近代は歴史的に克服されねばならぬ 腰の物質対策物議会ならかに価格をして物価委員會に代るに内閣庭 ※の可能性を示すにすぎない。近 とされる時、近代の示す緊張相は 超記さるべきものだとする期待 正しく提へることが必要であると調的試試のうちに確然の批賞を一る前に却つて近代のもつ必然性を 金、産業技である。その上メ、30年人類でありる。男女の葉、あわっ。ただ中国の教育制度は、加いて本地に会議されてある。その上メ、30年人類でありる。男女の葉、あわっ。ただ中国の教育制度は、加いて本地に会議す と今、教育士、総成士と多大の、のうたが、これに関する金融等、女芸術の関係の主義を与った機会のも、教芸の活動の書「様し」というというので、これに関する金融等、大の名才が成立課題が、大な世、いくや、今日では最後的など機能が必須用した。日には、日本の人は、日本の人の人の人は、日本の人の人は、日本の人は、日本の人の人は、日本の人の人は、日本の人の人は、日本の人は、日本の人の人は、日本の人は、日本の人は、日本の人は、日本の人の人は、日本の人は 劉期的歌談とは何と云つて しかし、このやうに未來の可能 るであらう。自己が缺別せんとす 友邦中 かた風分を様は 一國の大學 および大學生々活 ければ近代を超克すると何して逆 する過去の時代は、その豊かすら る人物は、まさに憎怒の勤懲とし おいて國内物位政策も労働すると いてあることが許されなくなって のごとく関内政策にのみ登述を置 しては、智然のことであると云へ いふべきであらつ。 リウンあるのは、戦力智然とも く外部の影響をうけながらも たもりが、比較りを守町、出たいじせまといふ新いい主要が超 変世度生活であつて、善國の知 まつて、ここで韓国月に敬義の心ではより、 関の如、金國の永らが大量に世 アメリカ風の男女平等織や男から、薔薇の斑細よりは二ケ年 と感じたことである。 もしめ、古來の東洋的賠償を中 日本の如く良婆賢母主義に関機 のとして殴へられてをりながら、 で質切の動象となつてゐるで質切の動象となつてゐる ある。 文學報國會が昨年以來既に苦緻な たが、 松別の活動が見られたのけ ものは市場的関値に脱算された概とが、 松別の活動が見られたのけ ものは市場的関値に脱算された概 としては、在州の英僧野が複雑 現すべき日本般解を観光し、盤も美術報論質の結成が認れた原因 を結集して島間の復新と連想を観 ところで、このやうに現代にと 9 また同様な必能を示すもの (回の名物門)と であって、神を寝ら上にあるの 美術は交替のやうには言葉を踏 が別である。 不変けられてあ ではない、単公の記述を数解する さない、所謂相響時であり沈節 姓外日中間に いろうとうす ひた。こ 縄知しないが、兎も角もその明然 界に勝るに足る吹のものであるこ 際に掲立した原生社会を形成して、生間の指導者属を形成して、生間の指導者属を形成して、生間の指導者属を形成して、生間の指導者属を形成して、 理想に燃え、東亜延設 対域 化の概能に発身するといふにある 機器 現すべき日本整線を超眺し、進ん を整 現すべき日本整線を超眺し、進ん 一部であり、大學生活はそのま 間の如 とでありながら然も匿々無意識の ある、このことは極めて自明のこ 類的微値ではなくて、文化的微値 * き現代を置み出すための媒介となき現代を置み出すための媒介となる。 らである。かかる歴史の進行 現代へかけての重撥的な側面のき 定飲にある會の目的は、鹽園の な運動を指へるならば、近代の終 或 美 図の如くを図の多字が大學に集 個れて、粉命に効果をつづける 作風の檢討と研究を要望し 術觀の 問 を考ふれば自ら明かであらう。響 であることはできなかつた。このであることは過去の経済が人のる民族と 時代とを通じて、夫々の歴史的現 し職能と雖も歴史的現實から自由 要素に個くて<u>微</u>費の一部を興奮す マニエリスムス)と呼ぶ。 歴史の 側、コバルト、ニツケル等合変場中にあることが發見された。 る機械の無収測に機が或る軸の 被心、操巡に成 機械の馬里を選定する台 獨逸文化通信 編)第八巻上册出來。下册近刊 「東京・中下は、東京日本、東京・日本 「東京・中下は、東京日本、東京・日本 「東京・日本」、東京・日本 「東京・日本 註詳 竹內 海兵衛著 文 明治法制史論 日本農業經濟論 量版 シラーと ☆55月 郷水・188 今成豊吉著 整体を 有道著 京畿切支丹史話 續一語 「機関中」機構立静…本書の特色はその高考が出として文献 等的に従来末別和の新し、教育を組役として考設 されてあるものが少くない監で、後継を検索する 所大であらう。 文學以上 新聞良三著 日本農民史料聚粹 國際法學大綱 海师士田 阅良一著 近時に終ける諸素策の射程を測定せんとするもの。及び、わが農村問題の脈史的厳義、特質を明らかにし、優を長農分離の封建時代に起して長島県全の現非常時に 對照獨文の解 し、隘所に英語を挿入して理解を便ならり めに詳細に文脈を説明して主語の所在を示 次大戦に關するもの等を採り、初學者のた 出來で居る。例題は實際に即したもの、今 者は同一文體の文章に何處かで數回は遭遇 本書は獨逸文の基礎的構造を過く網羅し而 かも之を凡ゆる角度より分類した結果、讀 近 B 照替東京八五五六 嚴松堂書店 美術史論 新刊 新州 BMM 00以 質二·五〇 第1五 立世演劇の研究 中本の演劇 その成果を見究めんことを意図せる大客。 日 本書の精神質景郷 →基礎構造と主語↑ B6#1:00 自然に文體に慣れるやうに 备株社式 悲 南 MI-00 谷信一著 江 起價 釋 認何 劇 Ü 編所究研畫計土國 刊新店書倉朝 見 刊新社論評本日 文化成學。後前餘 ボ 熱帯の食品 學生生活調查 **新の権厳格とされてある。大東部に於ける役職の投資にも示唆参さを信ずる。 第一次大競後今次大戦さでの各職の割弁投資を群等に分析し、その方面では最 の計算を表した。 1990年の日本の権力を表して関連した報告等であり、** 國親勞生 似の史的 非理を日本経済の主軸的な展開過程に結びつけて世に関ふ。にあつて孜々と変質に沈街してあた著寺は、玆に明治黎明助から大戦までの教護氏経済の動動版として記録の遺ふ役割は依然逝宴なものがある。 多学賞務界 iv 話 際投資の諸問題 が開きたのでは、一般に対している。 PV: ▲日本海流太平洋 神皇正統記と文學精神、野歌 木 哲 ▲満ソ國境をゆく雑方 ※ 顕心候心。女成目録(彩文・歌文) ……研究所篇 ソ場発済立地の話問題。英成丁楽立地の …… 資料・附録篇 —— オの土 學 學

前川晃一著

看 「現代管學変書と)環境との間域を追求しつ。 素と観済等の諸相に及び國 野心的新研究の書。 野心的新研究の書。

間:○○ 送|五 (間:○○ 送|五 養琴博士

の成分につき栄養債を許諾 布等の安源状態を記し食物 の変源状態を記し食物 の対象源状態を記し食物

上へに来曾 寛・人野男二大〇 寅二

(現代哲學遊古人) 神話は 着 墨城「子」にとつて「祖」 者 墨城「子」にとつて「祖」 である。本書は 「子」の自髪の帯で正に割

館 學 小 様ツー塩田神市京東

小野清造

物價對策の現段階

【日本出版文化協會推薦圖書】

京堂優良圖書

選

東京

・総田

一本證券史論

卷上

(例三·人〇 线·二〇

海後宗

臣箸

個五・人〇 総・三〇 本慎一譯

間□・○○ 総・□○

即して耐水、電路内に入って指数。のである。これを新わけようでは、で扱う、高さ多数含質素に関金の気がにあった。の音はなくまであるがであった。日間で、様子をもあって、ほじまないである。ないでは、おくからない の音はなくまであるができる。日間で、様子をもので、日間を最けにおいます。 三分の一は會社員 本學卒業生の狀况 目立つ法文の萬能性

意味で本様の先輩幾の社會的活躍を助づけることは意義があるだらうし文財職をひかへた三、 るがごとくその帝大に育くまれ巣立つた出身者にも自ら個別的な色彩があり、それが各々の の先人は社會の指導者としてわが関の飛躍的發展の第一線をなして來たのである、難しき先

就職の用意を 舞鶴軍港ご工場へ

天長の佳節に絢爛

同學會春季鍛鍊大會

網館にむかび軍艦「XXX」

日本の変更のであった。 日本の変更の大文明による (本語の主) 「日本の変更のである。 日本の変更のである。 日本の変更のである。 日本の変更のである。 日本のである。 日本のでは、 日本

今回はプラームスの夕である。つ」ら一時水で本學素消場で和遊館

空手演武會を催す

下無敵海軍の一端を残ひ、四時婦一題」と題する鬱滅會を開催する

定期演奏會

ワグナー シルバーナ 投製協製曲第五者 イ長調 メンデルスソーン イタリー変

ぶさに見墨、大東距職|畑助教授の「東直國際法論の録

(金)午後六時から樊友會館で田 撮影獨姿松生鳴子氏、曲目

午後六時から、前満州領郊國大寨

六月上旬申込發表

つてゐた往時が思はれるわけであ じ官界にあつても一つの氣風を高 つても行政官と司法官とがほゞ同 とは蹇念であるし、一面から云へ の傾風が轉換期にあるといふ事實、容易なるためでもあらう、 いへよう、こゝに可法界における あらう、そして又同じく官吏 度信念をもつて躍んで感の道はい 去られるべきでなく、名利の念を

者、難師、難聽士など専門外の

はり功利的な常への潜んであるの 術員が観倒的である、これは何を う、勿論現在、增盛の第一線に立 意味するであらうか、勿論一概に

を当 続のもつ除る、株式のために現料 を当 あらつが、それを思へば一層、技

8巻は、性によって動かされてあるといふ

鍛錬體操の繼續

| 脚と来げ、泉瀬に路まり、 荷々にみる「龍足護団」の いだらうから、 冬葉密別に河管穴場所を弾んでやえて生、泉瀬等に属する魔薬的の観いも時期の道 一杯にといふことに場所的にも時間的にも底線がな

を悪へずには参れない。最近個々な多感覚の行事と、含せる漢字概要しただけでも傾伏」の上ない。とうが超異なる感覚の行事と、含せる漢字概要しただけでも使行し向うでは異になれば、というな知識に物語を知くである。

ら航後路墨貨院銀、西蛸人料教祭

のも一巻だらう。弦の休みの一時に、暴部のいだらうから、各暴部別に演賞た場所を認ん マ天長節の式後本門氏から指導を受けた者は 機丸側関して移かに警はしく取つてゐた一人で 機丸側関して移かに警はしく取つてゐた一人で 經著福 音的

稱名

A.B Davidson: Hebr

かけての決戦政勢の長中にあつて マ法縣部の教官方も、法休みの屋上を利用されて、

應用積分方程式論 (語等次著 (語) (記書)

菊池正士著 (五月上旬日費)

A5种四〇〇頁 個大·五〇十三〇

原子物理學

を奏べずに付多れない。最近復々な次度がで行った。 させる議を概要しただけでも愉快ごの上ない。

日本化學會編 (五月上旬頭賣)

廖質學論叢第一輯

西拉二.00

教會を通じて金相比丁の階質が行

野球聯盟解散

ジンメル戦争の折り

文學と文化 四二・八〇

文學の交流(第二・第〇

時感だ體育訓練實施要納」により でよりの正式の投資に對し、正式





が受力 はじめた、常日頃彼から丸川穏

間の御談範を承つてゐた友鐘は、 たが、實際は次の如き事情による

那

旅

行

日

おける高射砲頭の破片が危険 〇年教の時間に来教官が空影

支那政治經濟年表馬 場明 男 書 本の文明批評があり、像大な人間リヒトホーフェンニ接することが出來る。

三山 リヒトホーフェン著 老 原 正 株 専

主署「支那」は、支那の地質學的研究を内容とする専門書であるが、本書へ一八大

つて示したもので、而も単なる市会の項目羅列に非ずして翻却史をも依備したもの

大觀堂新刊·重版 邊疆アラスカ ギニ、00 〒110

高部のアラスカの全鉄炉かて開明さる/映 的 類 顧 と 識 源 柿沼太郎著

者 *11、00 TIM

である。 の夜報で九死一生のひどい目に 適つた

郷したといふのがこの間の事情な

らざりしと鑑に従來の丸川流を 曰く、ほんなんやつたら頭をのば

しなはれく、彼はさてさて思い利 **し思ひ飾つて先日理総店へ赴いた**

際戦父に相談したところ、親父の

へば掛もすでに年老ひ、頭の響

恩問も、初めて息を吹き

には思へぬのだが。いざと、質して心ぐ既召したりすること

と本物になる。さうした血は、、少しもない。蝦場は資理の實験なると、すべての人々がちやん。を、暴悶の中郷にと近ふ必要は 一億ごこに瀰滅してゐるのだら、流場に。學校で習つた規則が最

日本にはお観がないのは事實だが うな胎素がないのは事質だが

のまま、つの話でものる。 でははれるといたに、カスラと、歌や俳句を作りせて見た。彼の 自事によのは、前端さりた。 でははれるといたに、カスラと、歌や俳句を作りせて見た。彼の 自事によのは、前端さりた。 はいっとなりがを知るには、 人の自義に、前端さりた。 はいっとなりがを知るとしてもない。

日本人くらゐ不以論な民族は

きに堺市赛随民墓成児童に薫唆し 眼森する者が少く時代の要請本墨略県部教授皇野貞次博士は古 機能が訓練され幾役してゐる

腰離する者が少く時代の要請

耳鼻咽喉科教室の業績

りついけ、観響階を暗然たらし 日)原田勝敬、須吉新(京都)助教授始め教授座終始予集に頑 (朝日)小点五郎、住田器朗(金 健兵對策に貢獻

自分を一番より知つてあるも 分は前分の姿を見ることは出來 、われわれが、戦地で一番見た

家といふやうなものは別らなのでは定いか。さらない、別 いのでは定いか。さらない、別 らないといふ方が本権記らう だが、一人の人間が考へたこ し、見たととも一つの店童で

又他の何人かい おへき

大配名倉」の現實は比左の通り

初年典歡迎號

行發B-月1 部 藝 文 之際 藝

見たところで、それはどこまで

も平面的離別に過ぎない。そし

9

wwwを強心と質蔑的に躯作して 曹を入れた薬制らしいニュース のないでは、一般にいま、一般にいま、一般にいま、一般にいま、一般にいました。

高橋のもうに後つたま、ても、 大自分のものとなった前別ないない。 本がを生かず、 いないからだ。 さうしたものがは残害が多い。 なかを生かず、 いないからだ。 さうしたものがいている。 どび野地に、 大自分のものとなった前別ない。

トは揺者が戦地で作つた難聴「

ソロモンの決戦を語る

映方の弾丸に情楽取器するは機体

れ以下は蛭にも言葉にも現せま 配が報告された、円羽氏は文人 父雄氏の「ソロニン経散に添加し 一数第で同梱食主催のもとに丹羽四月二十八日午後三時より法練郷

劳六輯

『日本人は幼時より訓練すれば 航空長、落下線長、激水整領が長

かうたのは競等のニュース映画 だうたが、それは自分等が一個 だったが、それは自分等が一個 かく知りたかつたからだ。しか り、そのニュースとでも、その

會は午前十時から始められ間屋供 日戦時下學徒の意氣を充分に發揮

京大記者會

翻訳は、文墨報問會本部から久米

要例」の規定は鍛機部に多大の影響を関へたかに思はれたが、鍛錬水器が本帯生の矜持をもつ 関係なるがかが、このでなるで、こので支援的では解説者、既然者、既教者和力害、文化の投資、 関係なるがかが、このでは、こので支援的では解説者、既然者、所教者和力害、文化の投資、 関係なるがから、こので 親陸と戦争は今や著々と完成の域に強しつつあるのである、この同様食金糖の行事に呼應して 始らうとしてある、同巻青金種の石事としてはすでに春季観念大音が描されまたらかく男八回風鉄の玉角、殿観に皮た各種の交化的な観しに網野の季節となった、同暴食の語助粉が末さに

層は九日午後一時から水棚操及會 文報近畿連絡總會 本文樹弱既會近畿明終能者の總

四月から新發足

集、殿唐宗あふれる式典であつた。 アレたが、この有意能な能りにもととて教職員、晃生、生徒一同多 かくて午後五時薄りなく大會を終

過減久しぶりで待頭の實報ルハー

一週明寺-八角-神尾-阿目町歩行路は水頬瀬岬宮より大山崎

産資式を場行したが、決職下のこ 時から本部院上大ホールで天昼節

部の面目を蔓延し拍手を浴びた、

作田博士を招く

天長節拜賀式

ころを見せ、最後に再消部の

前十時から神官を招いて盛大に駆

勝した

銃劍道部

水無瀬神宮へ

院を訪れ、海殿に協つける郷土を 関リ智品を破滅させた、有何會で は、子供のでは、一般に協力ける郷土を である。

第一所で第七回転買者を紹介・「大大笠・育では七日(名)正午か | 帰日四名) は東国部屋をおびなると ・ 一次一年の「東京をと続え」 ・ 一次一年の「東京をと帰えて、 ・ 一次一年の「東京をと帰えて、 ・ 一次一年の「東京をと帰えて、 ・ 一次一年の「東京を、 ・ 一本の「東京を、 ・ 一本の「本」 ・ 一本の「本」を、 ・ 一本の「本」 ・ 一

る醫學性三十八名(北支三名、中 ルマシオ衛生局長、中國王大僚道

来る九日實施 舞機神宮へ 舞

機いて耐久競炸、銃破巡游、武弦

つあるが本學グラウンド東北部に、博してあるが の昇格以来ますくの成に膨みつ

日曜)水無瀬神宮―本學間のコー 如果を遺憾なく整理して、 知果を遺憾なく登場して、

> 西部構内にいたる約二十六粁で 丸太町道東行—那野岬杜—本學 - 西大路を北行-西の京脳町-

また就需要部同好會では去る!

各部

活潑に動く!

五月中の同學會事業

丹羽文雄氏講演

場所は水脈が開西島房前、集合時 正寶典、五名を一組とする、個人場所は水脈が開西島房前、集合時 正寶典、五名を一組とする、個人

信、同好開會とも松竹座の映響 行つた、まつ日朝川路工場を助ひ 日春期第一小業として工場見歴を 事件は未必的職殺人事件である

「シンガポール総攻撃」の鐵箔會

の強歩大會が全航生の期待のうちに行はれることとなつた、モレて同學者の目指すする単生の

(耐酸陶器)を見襲した、京た有いので高山斯川化學陶器株式會計

刻は午前八時半、神宮惣緑後出後一申込みも可、豫め同暴夜岸弥能へ

申込みのこと、なは養食は各自必

として調査した結果、運動選手ま

しつかり我の立場に居を踏みし、かなくては完全ではない。
・一部分は小様次を出ただけの名で 戦争の本當の姿は? がほんとうだらう…… さうだ、判らないといふ方

であり永遠の生命である。そし

頭は一のある一册)

てその順況が八数い字の精神で



進

堂 五章大器

太阪市南區 文

生堂書店製品